

天下逸品!  
マサルのベートーヴェン

# 岡田 将 ピアノ・リサイタル

## — ベートーヴェン **5大** ピアノ・ソナタ —

Masaru OKADA Piano Recital Beethoven Piano sonatas

〔第1部〕

ピアノ・ソナタ第14番

嬰ハ短調「**月光**」Op.27-2

Sonate für Klavier Nr.14 cis-moll "Sonata quasi una fantasia"

ピアノ・ソナタ第8番

ハ短調「**悲愴**」Op.13

Sonate für Klavier Nr.8 c-moll "Pathétique"

ピアノ・ソナタ第15番

ニ長調「**田園**」Op.28

Sonate für Klavier Nr.15 D-dur "Pastorale"

〔第2部〕

ピアノ・ソナタ第23番

ヘ短調「**熱情**」Op.57

Sonate für Klavier Nr.23 f-moll "Appassionata"

ピアノ・ソナタ第21番

ハ長調「**ワルトシュタイン**」Op.53

Sonate für Klavier Nr.21 C-dur "Waldstein"

※曲目・曲順は変更の可能性がございます。予めご了承ください。  
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

日時: **2015年4月17日(金) 19:00開演(18:30開場)**

会場:  **浜離宮朝日ホール**

都営大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ  
東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2階 03-5541-8710

主催: 朝日新聞社 / コンサートイマジン

お問い合わせ: コンサートイマジン 03-3235-3777  
<http://www.concert.co.jp/>

チケット取扱い:

**コンサートイマジン 03-3235-3777** | 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 248-881] | e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

**2014年12月2日(火)午前10時 チケット発売開始!** チケット(全席指定) 一般5,000円・学生3,000円 学生券は、コンサートイマジンのみのお取り扱い



# 岡田 将 (ピアノ) Masaru OKADA (Piano)

福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部で第一位受賞。92年第61回日本音楽コンクール第一位、併せて野村賞、E・ナカミチ賞を受賞した。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業し、オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。優秀なコンクール歴を持っており、97年ベルリンで行われたアルトゥール・シュナーベルコンクール第一位とスタインウェイ賞を受賞。99年にはオランダの第5回リスト国際ピアノコンクールで第一位を受賞し、ドイツ国内を中心にオランダ、ベルギー、ロンドン、NY、ジュネーブ、チューリッヒでリサイタル、ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演し大きな成功を収めた。ベルリンでは、ラジオ・ライブ公開録音にも出演し活躍している。日本では、新日鉄コンサート、日本ショパン協会例会、故園田高弘氏の推薦によるトッパンホールの“旬のピアニストシリーズ”、そして同ホールが若手演奏家に更なる飛躍の機会を提供しようという趣旨の「レスポワールシリーズ」に出演。04年12月に行われたオール・リスト・プログラムのリサイタルでは、圧倒的なスケール感と緻密な構成力が、高い評価を得、注目すべきピアニストとして大きな反響を呼んだ。また日本フィル、東京交響楽団、九州交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団など主要オーケストラとの共演も重ね、ソロに留まらず幅広い活動を行っている。

04年、オール・リストでデビューCDもリリース、新聞紙上で推薦盤として紹介された。

02年第12回出光賞受賞。03年第29回日本ショパン協会賞を受賞。05年5月には、ドイツ・ラインガウの音楽祭にてチェリスト、石坂団十郎氏と共演、また8月にはドイツ・バイロイト音楽祭の期間中に、リストや20世紀の音楽を含んだソロ・リサイタルを行い評価を得た。2005年に小林研一郎指揮、日本フィルとの共演で大成功を収めた。2007年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学で教鞭をとっている。フランツ・リスト生誕200年の2011年には、東京と神戸でオール・リスト3回シリーズを開催、大きな反響を呼ぶ。また同年10月22日、リスト200歳の誕生日には、リスト国際コンクールの歴代優勝者たちによる記念コンサートに出演した。2013年にはバッハ：バルティータ全6曲を一晩で演奏、音楽ファンに大きな衝撃を与えた。2014年6月から、2年間にわたるベートーヴェン：ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)を開始。

オフィシャルHP：<http://masaru-okada.jimdo.com/>

## 岡田 将のベートーヴェン像

西原 稔(音楽学者)

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏を手掛ける岡田さんのベートーヴェンは実に逞しい。彼は自己耽溺的に感傷的になることなく、また自己の解釈を誇示することもなく、まっすぐ正面からベートーヴェンとその作品に向かい合い、くっきりとしたベートーヴェン像を描き出している。

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲の演奏はピアニストの最高の舞台であり、試金石であり続けた。往年の巨匠はすべてこの試金石を通過して偉大なピアニストとしてのキャリアを積み上げていった。岡田さんがこのベートーヴェン演奏に取り組んだことは、彼が巨匠への道程を歩んでいることの名にの証しである。

岡田さんはリスト弾きとして脚光を浴び、その後バッハの《バルティータ》全6曲の演奏で、きわめて精緻な精神世界を描き切った。そして今、岡田さんは満を持してベートーヴェンに向かい合っている。彼のベートーヴェン演奏を拝聴して強く思ったのは、目の醒めるような強靱なテクニックはもちろんのことであるが、それ以上に全体にきわめてストイックなベートーヴェン演奏だという点である。私は、演奏家に求められているのは、個人の心象風景の描写や自身の想いの信仰告白である以上に、「作品」をいかに普遍的に表現するか、という点にあると考えるが、彼のベートーヴェン演奏は自身の感傷や感情移入を排して、大きな視野で作品の遠い究極的な像をしっかりと見つめているように思う。

彼がその演奏で表現したベートーヴェンは多彩である。《パンマクラヴィア》で見せた堂々とした交響曲のような演奏、さまざまな表情を細かに描き分けて一つのドラマに仕立てた《熱情》、優美な《テレーゼ》や淡く透明な《田園》など、彼はきわめて研ぎ澄まされた感性とあらゆる表現を実現できる確かなテクニックを背景にベートーヴェン像をさまざまな側面から描き出している。その演奏から、ベートーヴェンがそれぞれの作品で表現しようとしたものに静かに耳を傾け、作品世界を深く思量している彼の姿勢を感じる。岡田さんの演奏から感じられるベートーヴェン像は、同時に彼の思索の姿ではないかと思う。

## 神戸公演のお知らせ

### 岡田 将のベートーヴェン ピアノソナタ全曲演奏会(全8回)

【第1回】2014. 6 / 13(金) ピアノソナタ 第1番、第5番、第6番、第23番「熱情」

【第5回】2015. 6 / 12(金) ピアノソナタ 第8番「悲愴」、第22番、第29番「ハンマクラヴィア」

【第2回】2014. 9 / 12(金) ピアノソナタ 第2番、第14番「月光」、第24番、第15番「田園」

【第6回】2015. 9 / 11(金) ピアノソナタ 第7番、第25番、第27番、第28番、第30番

【第3回】2014.12/12(金) ピアノソナタ 第3番、第9番、第10番、第21番「ワルトシュタイン」

【第7回】2015.12/11(金) ピアノソナタ 第12番、第18番、第26番「告别」、第31番

【第4回】2015. 3 / 13(金) ピアノソナタ 第4番、第17番「テンペスト」、第16番

【第8回】2016. 3 / 11(金) ピアノソナタ 第20番、第19番、第11番、第13番、第32番

会場：神戸新聞松方ホール / チケット：各3,000円

お問い合わせ：神戸新聞松方ホール Tel.078-362-7191